

FAX通信



いでは

発行：平鹿地域振興局福祉環境部  
TEL32-4005 FAX32-3389



17.8.16  
週報第 652 号

# こども感染症情報

## ☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第32週 (8/7~8/13) (31週)	
	発生数 (人)	前週との比較
流行性耳下腺炎	0 ( 3 )	↓
ヘルパンギーナ	6 ( 9 )	↓
感染性胃腸炎	26 ( 17 )	↑
溶連菌咽頭炎	3 ( 4 )	↓
咽頭結膜熱	3 ( 3 )	→
水痘	2 ( 2 )	→
RS ウィルス	9 ( 4 )	↑
手足口病	18 ( 32 )	↓
突発性発疹	3 ( 0 )	↑

(参考) 秋田県の状況 第31週 (7/31~8/6)
<全県の発生状況>
1位：手足口病 (全県で前週より13%減少)
2位：感染性胃腸炎 (全県で前週より7%増加)
3位：ヘルパンギーナ (全県で前週より78%増加)
4位：咽頭結膜熱
5位：溶連菌咽頭炎
県内 警報・注意報
警報：手足口病 (大館・由利本荘・横手・湯沢)
警報：ヘルパンギーナ (大館)

※ 「管内状況」は横手保健所管内の5小児科医療機関による

※ 「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

**ヘルパンギーナが県内で増加しています！**

夏風邪の代表的疾患で、発熱と口腔粘膜の水疱性の発疹を特徴とした急性のウイルス性咽頭炎であり、乳幼児を中心に、夏季に流行します。

<症状>

2~4日の潜伏期を経過し、発熱に続いて咽頭痛が出現し、咽頭粘膜の発赤が顕著となり、直径1~5ミリの紅うん(皮膚が部分的に充血して赤く見えること)で囲まれた小水疱が出現します。口腔内の疼痛のため、不機嫌、拒食、脱水症などを起こすことがありますが、ほとんどは予後良好です。

横手地域・学校欠席者情報 (8/14)

疾患名	インフルエンザ	感染性胃腸炎	マイコプラズマ	手足口病	水痘	溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	その他
施設(数)	ザ	炎	ズ	マ		炎	炎	
保育所・園(35)							1	3
小学校(22)								
中学校(8)								
高校(7)								
特別支援学校								

夏休み

感染症情報収集システムより (人)